大雨・暴風

地球が温暖化していることはもう疑いの余地がないと思われます。
大気中の水分量が多くなり、短期間に大量の雨が降り、そのたびに甚大な災害が起きています。
線状降水帯という言葉もすっかり日常的な文言になってしまいました。

最新の気象情報に注意する

＜注意報＞

大雨や強風などによって災害が起こるおそれのあるときに、気象庁が注意を呼びかけます。自治体が発表する「避難準備・高齢者等避難開始」の情報に注意し、雨・風の影響を受けやすい地区では、避難行動要支援者は早めの行動を心がけます。

＜警報＞

重大な災害が起こるおそれのあるときに出され、該当する地域で警戒を呼びかけます。自治体が発表する避難情報に注意し、必要に応じ速やかに避難します。

「東京都発行『東京防災』P144、145より」

＜特別警報＞

警報の発表基準をはるかに超え、数十年に一度しかないような重大な災害の危険性が高まっている場合に発表されます。直ちに安全な場所に移動する必要があります。

気象等に関する特別警報の発表基準

現象の種類	基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合	
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮		高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	